



北海道再生!!

—一人に温かい道政—

道政ニュース

高橋とおる

発行 2020年春～夏号 No.69

高橋とおる事務所

〈自宅〉函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



第2種感染症指定医療機関の市立函館病院

新型コロナウイルス感染対策を

知事及び国に要請

二月末、国内で一番感染者数が多いと北海道知事が話したことを境に国内観光客は一気に激減、外国人観光客も波が引いたように訪れなくなりました。

繁華街は人影も少なく、飲食店等も同様で、経営は一気に落ち込み、業界で働くパートやフリーランスの方々も自宅待機や解雇に追い込まれています。

また、観光関連の産業は売り上げが七～八割減となり、外出自粛の影響で商業関係も営業短縮や休業に追い込まれています。

今まで経験したことのないこのような状況に対し、民主・道民連合は、感染者が拡大し始めた二月一八日に感染症の拡大抑制などを、経済影響が大きくなり始めた三月一日には医療・福祉体制の充実と具体的な経済雇用対策について、二度にわたり知事に要望書を提出、さらに三月一八日には党派三役が上京し、立憲民主党枝野代表及び関係先に要望行動を行いました。

この道政ニュースが、皆さんの手元に届く頃には、国の大型コロナ対策補正予算が国会に提出されていることとは思いますが、まずは、休業や売り上げ激減などで商売を維持するのが困難な商店や企業への融資緩和や返済期間の延長、そして時短や予期せぬ解雇などが生活を直撃している労働者の方々の生活補償や給付を早い段階で行い、底をついている医療関係物資の供給と医療関係者の確保、感染が落ち着いてきた段階では経済活動への刺激策などを間髪入れずに行い、国民の生活の維持と健康の維持を一日も早く導くための補正予算にしようという私も努力いたします。

第一回定例道議会報告



第1回定例道議会本会議 (3/12)

第一回定例道議会は二月二七日に開会し、二〇二〇年度一般会計予算案、「ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議」などを可決、三月二五日に閉会しました。

中国湖北省武漢で発生した新型コロナウイルス感染症に関わり、中国寄港後に横浜港に着岸した「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客にも感染者がいることが判り、国内でも帰国者から感染者が出る他、北海道でも感染者が発見されたことを受け、二月二〇日に行われた議会運営委員会において、多人数が集まる議会の

での集団感染リスクを可能な限り軽減すること、併せて行政としての対応を速やかに行うための措置として、本会議は一般質問を取り止め代表質問だけとし、予算特別委員会は当初の三分科会を二分科会に変更して予算審議を行いました。

民主・道民連合の代表質問では、鈴木新知事による本格的な予算案、新型コロナウイルス感染症対策、キタデミー賞問題及び用地取得業務における公金の不適切な事務処理など、前・高橋はるみ知事時代の不正事件、行財政運営、IRカジノ誘致問題、幌延深地層研究センター計画延長、JR北海道路線維持問題、GIGAスクール構想、人権問題、イベントを中心とした今後10年間の「ロードマップ」、新たな公約等について、知事の見解を質しました。

冒頭、国の経済対策を受けた約一、五六〇億円の補正予算を先議、急がれる豪雨被害を踏まえた治水対

不可解な補正予算案提案

今回の本会議では、冒頭先議の他に二〇一九年度最終補正予算と、コロナウイルス対策関連補正予算案が提案されました。

通常の定例会と違い、年度最後となる第一回定例会では、予算の最終係数整理のための最終補正が行われ帳尻を合わせますが、今回の定例会では、閉会日にも一度補正予算案の提案がありました。

これは、コロナウイルス対策について国会で質疑が行われたこともあり、政府が第一弾として約二五三億円の補正を行いました。が、わずかばかりの補正だったために少額すぎると批判を受け、予備費である約二、七〇〇億円を含む約四、三〇〇億円を第二弾とした

策、貿易交渉の影響を最小限にするための農林水産業対策に対して、生産者に効果的な執行を求めました。

ことから、それを道が受けて最終補正後の補正というおかしな提案となりました。併せてこの補正は、年度内と新年度に分けての提案となり、新年度分は繰越明許という変則の提案です。

最も不可解なのは、三月一三日の最終補正の主要部分である「中小企業総合振興資金貸付金」は、計画より借り手が大きく下回ったとして一八二億円の減額補正を行いました。が、二五日のコロナ補正では、年度内に成立が必要な事業として

前・高橋はるみ知事時代の問題ですが、前知事と東映の社長がトップ会談で決定した「北海道命名一五〇

同じく「中小企業総合振興資金貸付金」を約二四七億円計上しました。一二日前に最終減額補正をした事業を、今度は増額補正するという、まったく矛盾する補正を組んだのです。

制度の拡充があったにせよ、こんな補正では年度末まで限られた時間の中、説明資料などを用意する道職員も大変だったのではないかと思います。

夕張市長時代は八人の議員に理解をしてもらえば済むのかもしれませんが、道議会はそうはいきません。今回の貸付金の補正額だけでも夕張市の一般会計二年分に相当します。

今までと違う緊張感を持ち、慎重な議会対応をして欲しいものだと思います。

キタデミー賞問題

周年記念キックオフイベント」で、当初予算で企画を進めましたが、委託していた会社がイベント実施間際

になって膨大な事業費を要求、担当者は知事によるトップダウンの事業を縮小する訳にかず契約書を交わさないまま事業を実施、自ら何とかしようとし虚偽の文書を策定し、二か月後に担当部長に相談するも、部長の手元でも対処できず、知事に報告したのはさらに二か月後となり、その時には企画会社から札幌簡裁に調停を申し立てられ、追加調停額約二、八〇〇万円を支払うことになりました。

このことを前知事は議会にも報告せず、鈴木知事になってから発覚、知事は道庁内に調査委員会を発足させましたが、委員は道庁幹部だけであり、森友学園問題ながら身内だけの調査となりました。

も、「なぜ事前に契約書を交わさなかったのか、なぜ上司への相談がなかったのか、虚偽の文書を作成するに至った経緯」などは説明されず、再発防止策だけが強調されたものとなってしまいました。

これは、取りも直さず前知事のトップダウンで決めた事業に対して、部下の誰もが諫めることが出来ず、結果、事業の失敗は許されず、事業費に関わる契約の折り合いがつかないままイベントを実施した結果であります。

新型コロナウイルス感染症対策

道内では、一月二八日に旭川で中国人観光客が初めて発症、それを受け道庁において知事をトップとする対策本部会議を設置することになりました。

その後、二月一九日に七飯町でも感染を確認しましたが、その時知事は、自身の選挙公約である「なおみち・カフェ」と「スクラム・

り、そのために多額の調停金を支払い道民を裏切る行為をしてしまったということになりました。

華やかなイベントの中心で、多くの芸能人に囲まれ満足げな高橋前知事。

そのためだけに、事業委託費九〇〇万円と調停金二、八〇〇万円の併せて三、七〇〇万円が消え、その責任も果たさずに参議院議員へ転出、鈴木知事は、その高橋前知事を庇うかのようになり幕引きをしてしまったのです。

トーク」に出席するために渡島地方の自治体巡りをしており、感染者が出たという報告を受け急遽札幌へ。

その後も北見市など道内で感染者が広がったことから、二月二八日から三月一九日までとして、法的裏付けも無いまま「緊急事態宣言」を全道に発し外出の自粛と全道小中学校の一斉

休校を要請しました。

全国に先駆けて行ったこれらの対処は、全国に衝撃を与え、その決断力に賞賛の声も上がりましたが、そのことで生じる様々な善後策はまったく無かったことから、休校になった子供たちのために保護者が仕事を休まなければならないこと、また、居場所の無い子供たちの対処も自己責任となってしまう、その後、同じように国民に要請をした安倍総理も多くの課題を抱えてしまいました。

道内で感染者が抑えられてきた三月一八日には「感染者の増加が抑えられ、平準化してきたことや医療体制の崩壊を防ぐことができただことから、感染防止をしながら、社会経済活動を行う」「新たなステージへ移行する」と緊急事態宣言を終了することを発表しました。自ら具体の経済対策を取ることなく国に丸投げをしていることは皆さんご存じの通りです。



普段は多くの観光客で賑わうBAYエリアも人通りがなくなっている。(4/1)

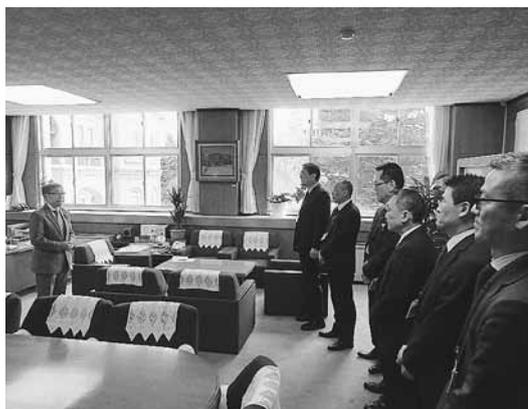
道新では「知事は、会員制交流サイト(SNS)などで『英断』と持ち上げられ、与党道議に『菅官房長官と相談して決めた。前例のないことをやる』と高揚した様子で話したという。独善的な判断は危い。リーダーは思慮深さも求められる」と批評されました。自らは何もせず、国と歩調を合わせるだけの前知事と、超法規的措置を思慮なくいとも簡単に判断し、パフォーマンスを重視する現知事。果たして道民はトップライダーに恵まれているのでしょうか。

写真で見る主な活動

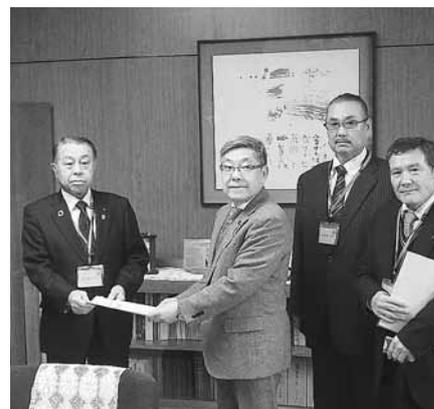
※詳しい活動報告はホームページに掲載しています。



函館水産市場2020年初競り
(1/5)



道議会議務局幹部への年頭のあいさつ
(1/7)



北海道農業協同組合中央会飛田会長
からの要請
(1/7)



民間による運営が開始された函館空港でのテープカット (1/18)



北海道・東北六県議会議員研究交流大会
において縄文文化の世界遺産登録に向けた取
組み等を報告
(1/24 福島県)



浜名湖から天竜川まで17kmを高さ13m~14mの津波防潮堤が
5年間で建設される浜松市を視察
(1/28)



「GIGAスクール構想」についての勉強会 (3/13)

高橋とおるホームページ

私、高橋とおるが活動の
中で感じる国政や道政等に
関する想いを随時掲載して
います。是非ご覧下さい。

<http://www.t-tooru.com/>

令和二年第一回道議会定例会提出決議及び意見書

- 決議
 - ・ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議
- 意見書
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書
 - ・中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
 - ・地球温暖化対策の推進を求める意見書